

医療

虫歯より怖い歯周病とは

シリーズ

歯科治療最前線

歯周病は全身疾患、口臭のリスク要因に

「歯周病治療と予防法」

歯を喪失する原因の中で虫歯と並び2大疾患に挙げられる「歯周病」。それ以上に恐いのが全身疾患との関係です。心疾患、呼吸器疾患、糖尿病などのリスク因子の一つにもなっています。今回は「歯周病治療と予防法」を取り上げました。

口臭の原因のトップは歯周病

歯周病は初期症状としてはほとんど自覚症状がないので気がつきません。それが歯を磨くといつも血が出たり、歯茎が少し腫れてきたりするとある程度症状が進んだ状態になります。さらに歯がグラついてきたり、食べ物を噛んだときに痛みが出ると重度の症状といえます。特に歯が沈み込むようにグラついてくる



熊本インプラントセンター 添島歯科医院 添島 義樹 院長

専門医からのアドバイスQ&A

「歯周病治療と予防法」

歯周病は初期症状としてはほとんど自覚症状がないので気がつきません。それが歯を磨くといつも血が出たり、歯茎が少し腫れてきたりするとある程度症状が進んだ状態になります。さらに歯がグラついてきたり、食べ物を噛んだときに痛みが出ると重度の症状といえます。特に歯が沈み込むようにグラついてくる

全身疾患にも悪影響

歯周病は全身疾患にも悪影響を及ぼすと聞いていますか？

はい。歯科疾患の中でも全身疾患との関係が深いことが、徐々に証明されてきました。心筋梗塞や狭心症などの心臓血管系疾患、肺炎などの呼吸器系疾患、糖尿病との関わりなどが挙げられるほか、低体重児出産の可能性が高まることも報告されています。

高齢者の方は十分に注意を

歯周病を甘く考えてはいけません。歯周病を甘く考えてはいけません。歯周病を甘く考えてはいけません。歯周病を甘く考えてはいけません。

歯周病に罹患する人は、以前に比べたら減少傾向にあります。これは予防意識の高まり、歯科医院での予防指導などの効果が出ているといえます。しかし、40歳以上の成人の約8割近くが、少なからず罹患している可能性があるといわ

と、最終的に歯が自然と抜けていくことになり。また、食べ物などの一過性の口臭ではなく、恒常的な口臭の原因のトップに挙げられるのが、歯周病です。逆に口臭がある人は歯周病に罹患している可能性が高いので、検査の必要があるでしょう。

歯周病は歯と歯茎の間にある「歯周ポケット」と呼ばれる部分に、歯垢・歯石が溜まることにより、歯が繁殖し炎症を引き起こすことで発症します。歯磨きが行き届いていない人はこの歯周ポケットの深さが一定以内の状態であれば歯垢・歯石もほとんどありません。しかし、歯周病に罹患している人は歯周ポケットが深くなり、大なり小なり炎症があります。

症状がなくても検診で早期発見

診療所での検査はレントゲンを撮ったり、歯周ポケットの深さを調べて症状を

判断します。症状が軽度なら処置も簡単で治療期間も短く、重度なら治療期間も長くなります。熊本市の45歳の男性は、歯周病は怖い病気だと聞いていたので、先日、歯科医院で検査してもらったら軽度の歯周病だといわれ治療しました。自覚症状はありませんでしたが、早く見つかるよかったです。と思っています」と話しています。



糖尿病の方が歯周病にかかると歯周病の進行が早まったり、逆に歯周病が原因で糖尿病が悪化するともいわれています。

禁煙とブラッシングと歯石取りを

歯周病の具体的な治療や予防方法を教えてください。

症状が軽ければブラッシング指導だけで済みますが、症状が重くなると、歯と歯茎の間の歯周ポケットを開いて治療する「フラップ手術」を行った後、歯と歯槽骨の付着を再生する「再生療法」を行ったりします。さらに重度になれば、最終的に抜歯になってしまう。

予防処置は日頃の適切なブラッシングと診療所での歯石取りを定期的に行うことです。

喫煙者はなるべく禁煙して下さい。喫煙は歯茎に悪影響を及ぼしますから、歯周病の方には禁煙をお奨めしています。

Advertisement for Soejima Dental Hospital, including contact information and location details.

新ワクチン工場と新本社ビルが完成

菊池研究所には細胞培養ワクチン新工場を建設へ



（助）化学及血清療法研究所

▲完成した化学及血清療法研究所の新管理棟（新本社屋、左の建物）と新ワクチン製造工場（右）

（助）化学及血清療法研究所（化血研）熊本市大窪1丁目、船津昭信理事長が、総事業費約110億円を投じて同研究所内に建設していた新ワクチン製造工場と新管理棟（新本社ビル）が完成した。

完成した新ワクチン製造工場は、鉄骨造り地上8階（高さ50・76m）地下1階で、建築面積2497㎡、延べ床面積2万386㎡。本格稼働は2012年3月の予定で、新型インフルエンザワクチン原液の月産換算で現工場の約2倍の生産能力となる。総事業費は約90億円。新本社屋は、SRC造り地上9階地下1階で、建築面積885㎡、延べ床面積7375㎡。総事業費は約20億円。

なお、化血研は厚生労働省が進める新型インフルエンザワクチンの生産体制整備で、現行の鶏卵培養法によるワクチン生産にかかると時間を短縮できる、細胞培養法によるワクチン生産を担う国内4メーカーの1社に選定されており、厚労省から239億円の施設整備交付金を受け、菊池研究所（菊池市旭志川辺）に細胞培養ワクチン製造工場を建設する。工場は地上3階地下1階で2014年3月の稼働予定。厚労省では新型インフルエンザ発生時に、現行の鶏卵培養法で1年半から2年かかる全国民分のワクチンの生産を、半年程度に短縮する計画。同工場はその重要な役割を担うことになる。



▲新工場内部の見学者通路。ガラス越しに製造ラインを見学できる



▲見学者通路のガラス越しに見た鶏卵培養法によるワクチン製造ライン



▲新管理棟内部。外壁にガラスを採用しており室内からの眺望がよい新本社ビルとなっている